

国会の「代表性」を考える

国会は「全国民の代表」とされていますが、日本には衆議院と参議院の2つの議院があります。衆議院と参議院は、それぞれ誰を代表しているのでしょうか。本講義では、国会の「代表性」を考えることで、「一票の格差」など、国会に関する様々な問題との関係を考えていきたいと思います。

門 松 秀 樹 教授

- 出張講義分野
日本政治論、日本近現代史
- 研究分野のキーワード
政官関係、官僚制、幕末・維新史
- 専門分野
日本政治論、日本政治史



大学ではこんなことを研究しています

政治と行政は国家の統治において車の両輪の関係にあり、この両者の関係である政官関係について研究をしています。現代の日本政治における政策の形成を事例として分析するだけでなく、その歴史的背景を探るために、明治維新を事例として明治政府による旧幕臣の登用状況などについても事例として分析をしています。

先生からメッセージ

大学は、高校生までの間に積み重ねてきた「学習」に「研究」が加わることで学問を学ぶ楽しみをより深く知ることができる場所です。「研究」は自分の興味・関心に基づいて自由に進めることができます。ただ、それは自分自身でテーマを決め、自分自身で考え、自分自身で論証していくという「自主性」が求められることでもあります。学ぶということは大変なこともあります、何よりも楽しいことでもあります。一緒に学んでいきましょう。

略歴 慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程後期課程修了。博士（法学）。
慶應義塾大学、尚美学園大学等の非常勤講師を経て、2020年4月より東北公益文科大学准教授。2023年4月より現職。